

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成22年7月1日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

● **需要面・・・個人消費は、低調ながら、一部に持ち直しの動きがみられる。**

大型小売店販売額(店舗調整後)は前年を下回ったが、ホームセンター・家電量販店販売額は前年を上回った。(4月)

乗用車新車新規登録台数、用途別着工建築物工事金額、公共工事請負金額は前年を上回ったが、新設住宅着工戸数は前年を下回った。(5月)

● **産業面・・・鉱工業生産は、持ち直しの動きがみられる。**

鉱工業生産指数は、季節調整済指数が前月を上回り、原指数も前年を上回った。(4月)

● **雇用面・・・雇用情勢は、厳しい状況にある。**

きまって支給する給与、所定外労働時間ともに前年を上回った。(4月)

求人倍率は、新規は前月を下回ったが、有効は上回った。新規求人数は前年を上回った。(5月)

○ **需要面の動き**

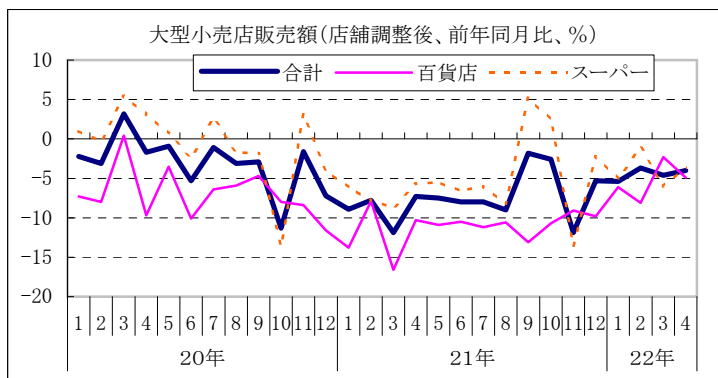
大型小売店販売額(4月)

全店舗の販売額は、52億4,600万円(前年同月比8.9%増)と5か月続いて前年を上回り、店舗調整後では25か月続いて前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比	
合計	524,600	8.9	(▲4.0)
百貨店	156,700	▲4.9	(▲4.9)
スーパー	367,900	16.0	(▲3.6)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(4月)

34億1,200万円(前年同月比2.7%増)と8か月続いて前年を上回った。

乗用車新車新規登録台数(5月)

1,590台(前年同月比33.5%増)と12か月続いて前年を上回った。普通車、小型車の区分は12か月続いて前年を上回り、軽自動車は2か月続いて前年を上回った。

新設住宅着工戸数(5月)

161戸(前年同月比7.5%減)と4か月ぶりに前年を下回った。持家系(前年同月比27.2%増)は前年を上回ったが、貸家系(前年同月比37.6%減)が前年を下回った。

用途別着工建築物工事金額(5月)

6億7,800万円(前年同月比297.3%増)と前年を上回った。用途別では、製造業(前年同月比141.1%増)等で前年を上回り、その他サービス業(前年同月比57.1%減)等で前年を下回った。

公共工事請負金額(5月)

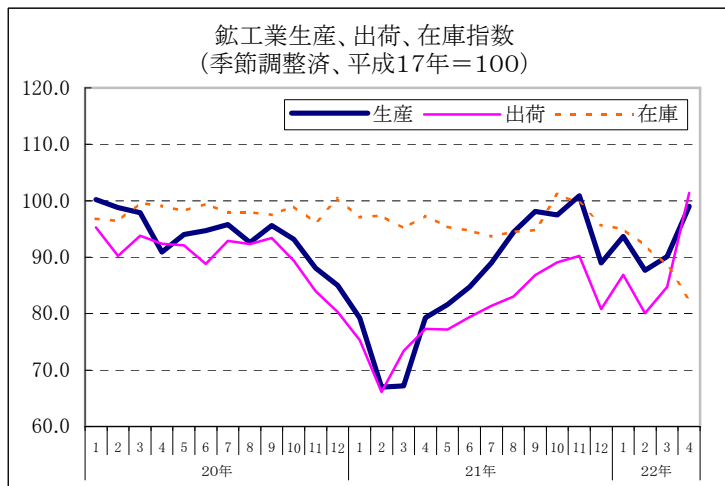
188億3,000万円(前年同月比107.2%増)と3か月続いて前年を上回った。発注者別の内訳では、国(前年同月比206.6%増)、県(前年同月比18.7%増)、市町村(前年同月比27.0%増)で前年を上回った。

○ **産業面の動き**

鉱工業指数(4月)

生産指数(季節調整済)は99.0(前月比9.9%上昇)と2か月続いて上昇となり、原指数は96.5(前年同月比24.8%上昇)と9か月続いて上昇となった。

内訳を前月比で見ると、食料品・たばこが6.8%低下となり2か月ぶりの低下、電子部品・デバイスが19.8%上昇となり4か月続いて上昇、電気機械が1.0%低下となり2か月ぶりの低下、一般機械が3.2%上昇となり2か月ぶりの上昇となった。在庫指数(季節調整済)は82.5と前月比6.9%低下した。



大口需要電力実績(4月)

108,392千kwh(前年同月比1.7%増)と5か月続いて前年を上回った。鉱工業用の大口需用電力は主要4区分のうち、パルプ・紙(前年同月比8.3%減)が7か月ぶりに、その他の製造(前年同月比0.9%減)が4か月ぶりに前年を下回ったが、鉄鋼(前年同月比35.2%増)、機械(前年同月比15.0%増)が5か月続いて前年を上回った。

青果物卸売量(5月、鳥取市場)

野菜が1,457t(前年同月比11.0%減)と5か月続いて前年を下回り、果実は675t(前年同月比15.8%減)と9か月続いて前年を下回った。

漁獲量(5月、境港)

14,793t(前年同月比70.5%増)と3か月ぶりに前年を上回った。

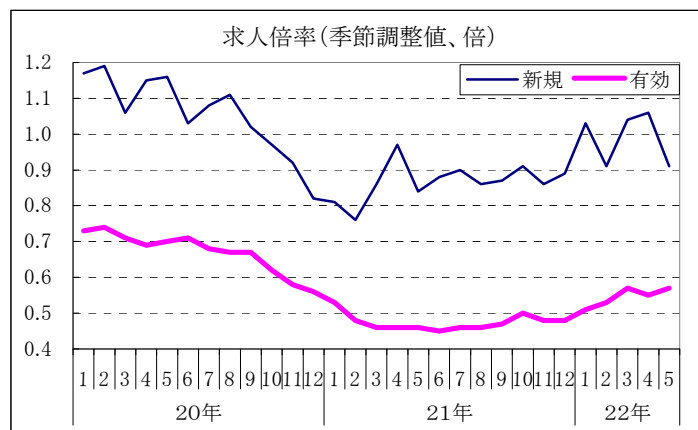
○雇用・金融面の動き

新規求人倍率(5月)

0.91倍(前月差0.15ポイント低下、前年同月差0.07ポイント上昇)であった。なお、新規求人数は、3,022人(前年同月比3.6%増)と5か月続いて前年を上回った。

有効求人倍率(5月)

0.57倍(前月差0.02ポイント上昇、前年同月差0.11ポイント上昇)となっており、5か月連続で0.5倍台となっている。



現金給与総額(4月)

250,460円(前年同月比2.5%増)と16か月ぶりに前年を上回った。そのうち、きまって支給する給与は、244,082円(前年同月比1.2%増)で23か月ぶりに前年を上回った。

所定外労働時間(4月)

8.2時間(前年同月比22.5%増)と5か月続いて前年を上回った。主力の製造業は107.5%増となった。産業別の前年同月比では、複合サービス業(前年同月比15.4%増)等で前年を上回り、電気・ガス・熱供給・水道業(前年同月比27.6%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(4月末)

預金残高は、1兆9,523億円(前年同月比2.5%増)と16か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,357億円(前年同月比0.8%増)と12か月続いて前年を上回った。

○参考

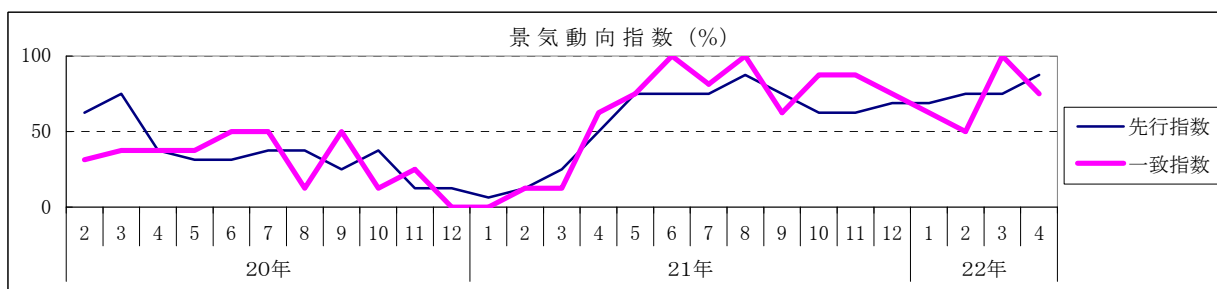
鳥取県景気動向指数(4月)

先行指数87.5%、一致指数75.0%、遅行指数40.0%となった。

先行指数は13か月続いて50%以上となった。

一致指数は13か月続いて50%以上となった。

遅行指数は7か月ぶりに50%を下回った。



企業倒産(5月)

件数は1件(前年同月比66.7%減)で前年を下回り、負債総額も2億円(前年同月比63.6%減)で前年を下回った。

消費者物価指数(5月、鳥取市、総合、平成17年=100)

98.6となり、前月比(0.2%)は上昇、前年同月比(▲1.5%)は低下した。

鳥取県の推計人口(6月1日現在)

588,308人で、前月と比べて232人(0.04%)減少し、前年同月と比べて3,432人(0.58%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成22年5月調査)

平成22年4~6月期は、平成22年1~3月期に比べると、景気、売上高及び経常利益のいずれもがやや不調となっている。

平成22年7~9月期は、平成22年4~6月期に比べると、景気、売上高及び経常利益のいずれもがやや不調となる見通しとなっている。